

# 滋賀CSRモデルに基づく 滋賀CSR経営診断 実施手順と活用方法

平成16年春

# 目 次

(1) 滋賀CSR経営診断 実施のポイント .....	4
(2) 滋賀CSR経営診断 重み付けとスコアリング基準...	5
(3) 実施の流れ .....	6
(4) 総合スコアのランキング .....	7
(5) 診断書・行動提案(オプション) .....	8

# 滋賀CSRモデル — 滋賀CSR経営診断の6側面 —

## 滋賀CSRモデルに基づく滋賀CSR経営診断の意義と内容

誠実な商いを基本に、社員、顧客、取引先を尊重し、社会の発展と自社事業繁盛の相互関係を深く認識したうえで、常に「より強くやさしい企業像」を目指すために、6つの側面から「経営品質の向上」を目的とする「滋賀CSR経営診断」を策定した。この滋賀CSR経営診断は、自己診断方式によって6つの側面から自社の現状把握を可能とし、経営者に体質改善に向けた示唆を与える。

### I. 企業風土、経営者の理念および利益についての考え方

事業利益と社会利益に矛盾を起こさない経営の実現に向けた行動が取られているか

### II. 倫理価値の共有と社内への浸透

経営層から、組織の第一線にいたるまで倫理行動の価値を共有し、実践できているか

### III. 社員の尊重と積極的な相互依存の醸成

社員との良好な関係、社内コミュニケーション、労働環境の充実が図られているか

### IV. 顧客、取引先との誠実な関係の創造と維持

顧客、取引先と重要な利害関係者の尊重、コミュニケーションの積極性、意見の反映ができているか

### V. 地域社会の維持と次なる発展への関わり

地域社会との関わり方、市民社会への参画、社会貢献活動が積極的に行われているか

### VI. 自然資本の有効活用と保全への関わり

環境配慮の事業活動、職場での環境活動、環境保全および自然修復活動への関わりが積極的に行われているか

# 滋賀CSR経営診断 実施のポイント

	設問数
I. 企業風土、経営者の理念および利益についての考え方	11
II. 倫理価値の共有と社内への浸透	8
III. 社員の尊重と積極的な相互依存の醸成	8
IV. 顧客、取引先との誠実な関係の創造と維持	8
V. 地域社会の維持と次なる発展への関わり	8
VI. 自然資本の有効活用と保全への関わり	12

## 滋賀CSR経営診断のポイント:

- それぞれの側面において、「滋賀らしさ」を反映しつつも、社会全般で求められているCSR基準の重要項目をカバーすることで、「普遍性」と「地域性」の両立が図られている
- 自己診断であるため、実施すること自体が経営層(実施者)の学習・再認識の機会となる
- 実施することによって、企業体質の改善(競争力の向上)のための示唆が得られる

## 滋賀CSR経営診断 実施方法:

- 実施者: 実施者として、経営層・幹部社員を想定している。
- 評価方法: アンケート全55問を4段階(0~3)で自己評価する。その結果を所定の入力シートに入力することで、スコアは自動計算される。各側面、総合スコアともに100点満点。各側面には、重み付けをかけている(次項参照)
- 活用: 診断の結果を社内の教育、体制の強化、行動計画の見直しなどに活用する
- オプション: 専門家による診断書の提出、具体的な行動提案などを受けられる

# 滋賀CSR経営診断

## 重み付けおよびスコアリング基準

### 重み付けについて:

滋賀CSR経営診断の6側面に若干の重み付けを加えている。設問数が多く、また「CSR・持続可能な発展」の視点から最重要と思われるⅠ.およびⅥ.をそれぞれ20点(20%)として評価し、その他の側面を15点(15%)と評価し、合計が100点満点となるように診断される。

	設問数	重み付け
Ⅰ. 企業風土、経営者の理念および利益についての考え方	11	20%
Ⅱ. 倫理価値の共有と社内への浸透	8	15%
Ⅲ. 社員の尊重と積極的な相互依存の醸成	8	15%
Ⅳ. 顧客、取引先との誠実な関係の創造と維持	8	15%
Ⅴ. 地域社会の維持と次なる発展への関わり	8	15%
Ⅵ. 自然資本の有効活用と保全への関わり	12	20%

### 各設問のスコアリング基準:

0=	全くできていない、意識・課題認識もないか極めて薄弱。	[なし]
1=	意識としてはあり、若干の行動を取り始めているが、充分でない。	[弱い～中程度]
2=	積極的に取り組んでいて、意識・行動ともに根付きつつある	[やや強い]
3=	極めて積極的かつ一貫性を持って継続的に取り組んでおり、成果が確実に見えてきている	[非常に強い、一流]

自社の事業活動との関連において、該当しない項目があった場合(特に「自然資本」の側面)の評価に関しては、自社が社会的責任を果たしていくなかで悪影響がないと断言できるものに関しては、「3」と評価してください。見落とした活動で、本来は、自社としてやるべきだが、全く着手していないものに関しては、「0」と評価してください。すべての項目にお答えください。

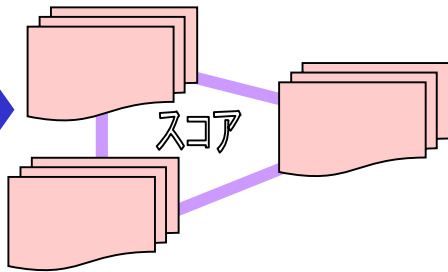
# 実施の流れ



自己診断のアンケートを経営陣、診断を実施する幹部社員で共有する(実施の目的と内容を明確にする)。  
経営診断は、結果をみることのみならず、実施そのものが一つの学習機会・再認識の機会となる。

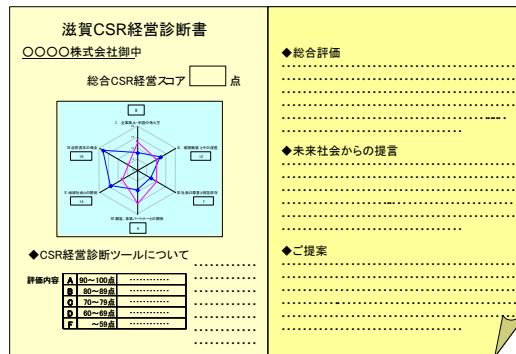


アンケート全55問を4段階で自己評価します。設問に対する対応・活動が実施されていない場合は「0」と評価し、最大限実施できている場合は「3」と評価する。実施するメンバーがそれぞれ独自にアンケートに答え、最後に平均点を割り出すというやり方もあれば、話し合いを経て一つの答えに絞ってから記入するやり方もある。  
外部に公開するものではなく、正直かつシビアに自己評価することが望ましいと思われる。



所定の入力シートに各設問の評価値を記入する。  
滋賀CSR経営のスコアが自動計算される。各側面のスコアおよび総合スコアが計算され、簡単なレーダーチャートに描写される。  
総合スコアは、A~Eの5レベルでランクされる。  
各側面のスコアおよび総合スコアのランクとその解説をふまえ、自社の更なるCSR経営の強化に取り組む。

## オプション

滋賀CSR経営診断書  
〇〇〇株式会社御中

総合CSR経営スコア  点

◆CSR経営診断ツールについて

評価内容	A	90~100点
	B	80~89点
	C	70~79点
	D	60~69点
	E	50~59点

◆総合評価

◆未来社会からの提言

◆ご提案

第三者によるアンケートの分析、診断書の作成。  
滋賀CSR経営診断の結果が専門家によって取りまとめられ、診断書という形でフィードバックされる。  
診断結果のスコアのみならず、更なる体質改善のための具体的な行動提案が盛り込まれる。  
社内講演や、経営陣との会議・意見交換との組み合わせも可能である。

# 総合スコアのランキング

## ランキングの解説:

- A 91～100点 最高水準のCSR経営を実施している。世界的な水準を十分に満たしていると同時に、地域に強く根ざした経営が実行されている。この高い水準に健全な誇りを持つと同時に、取り組みや活動がマンネリ化し、ランクが低下しないための継続的な動機付けなどに特に留意すべきであろう。また、実際に一人ひとりの行動に、ポジティブな形で浸透しているか否かを、継続的に見直すことよい。強い競争力、他社との差別化が図れるレベルの滋賀流CSRを実施していると思われる。
- B 76～90点 優良なCSR経営を実施している。この高いレベルの活動をどう効果的に継続するかと同時に、さらに上を目指すために、「もっとできることとは何か」を追求することよい。若干弱い側面・活動に特に留意し、その強化を図ることによって、Aランクを目指す可能性が充分にある。同時に、強い側面のスコアが今後低下しないための注意や、活動の十分な動機付けが必要になるとと思われる。
- C 61～75点 CSRの視点から、健全な経営をしているが、まだ「一流」というには物足りなさが残る。また、弱い側面が複数あるため、そのなかに落とし穴となりうる側面や実施していない活動がないかを確認する必要がある。もう一步の努力で非常に優良なCSR経営を実現することができる。一方、十分な動機付けと、意欲を持った取り組みを継続しない限り、リスクの高いDランクに落ちる可能性もあることを忘れてはならない。仕組み・システムの点検を図り、一層体系的な取り組みを実施することによって、Bランクを目指すことよい。
- D 46～60点 一部においては、CSR的視点をふまえているが、全社的かつ包括的にはカバーできていない。そのため、どの部分で、いつ、どのような形でリスクが発生するかの特定が難しいところがある。スコアの特に低い側面・活動を点検し、早急に必要な改善を図ることよい。そのときに、重要となることは、改善を図る社員などの動機付けと、活動の意義の理解である。これを明確に示し、上を目指す。十分な仕組み・システムがない場合は、必要に応じた導入・運用を検討する。
- E 45点以下 リスクが高いランクである。CSR経営への取り組みが不十分であると思われる。ビジネス的に成功を収めていても社会の新たな要請に応えられていない経営になっている可能性が高い。長期的な視点でみた場合、現在のレベルで経営を続けることは、リスクの観点から望ましくないとと思われる。このような危機感を共有した上で、改善すべき点を素直に見直し、重点分野を決め、哲学と展望をふまえ精力的に取り組む。

# オプション： 診断書の作成・行動提案

## 滋賀CSR経営診断

### 滋賀CSR経営診断書

〇〇〇〇株式会社御中

総合CSR経営スコア        点

◆CSR経営診断ツールについて

評価内容	A 90~100点	.....
	B 80~89点	.....
	C 70~79点	.....
	D 60~69点	.....
	F ~59点	.....

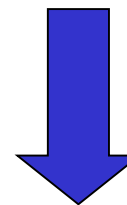
◆総合評価  
.....  
.....

◆未来社会からの提言  
.....  
.....

◆ご提案  
.....  
.....

4つの主な成果:

- (1) レーダーチャートによる  
結果の描写
- (2) 平均値との比較
- (3) 総合CSR経営スコアとランク
- (4) 解説と具体的な行動提案



上記は仮のものであり、実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

強み・弱みの確認、  
行動へのきっかけを経て、  
より高い経営品質と高い競争力の実現